

びわ湖レガッタ・結果報告

平成 28 年 9 月 15 日
同志社大学ボート部
主将 田井 哲朗
主務 能勢 政典

諸先輩・ご父母各位

第 62 回中日旗争奪びわ湖レガッタの結果報告

拝啓 早秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は同志社大学ボート部に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。さて、9 月 10 日（土）～9 月 11 日（日）に琵琶湖漕艇場にて行われました第 62 回中日旗争奪びわ湖レガッタの結果をご報告いたします。同志社大学は、男子舵手付きフォア 2 艇、女子舵手付きクォドルプル 1 艇が出漕いたしました。

敬具

<レース結果>

▼M4+A

シート：C:籠重航(法 2) S:田中直樹(経 1) 3:清水諒(経 1) 2:大慈智哉(商 1) B:中満祐樹(社 1)

【レース No.62】 9 月 11 日 11:18 決勝 1 組

レーン	クルー	着順	1000m	備考
①	同志社大学 B	5	3'52"56	
②	滋賀歯科大学東雲	2	3'23"47	
③	立命館大学	1	3'10"51	
④	同志社大学 A	4	3'45"46	
⑤	瀬田漕艇クラブ	3	3'33"45	

一回生が持つ本来の力を出させてあげられなかった。次のレースでは一回生に満足と達成感を与えたい。

C:籠重航(法 2 同志社国際)

練習してきたことを 100%だすことの難しさを痛感しました。スタートから出られる形でのレースで、焦りが出てしまいました。緊張の中でも体を無意識にフルで動かされるように、練習を積み重ねていきたいと思います。

S:田中直樹(経 1 北摂三田)

結果を出すことができず、とても悔しかった。筋力や精神力を日々の練習で養いたい。 3:清水諒(経 1 宇部)

残念ながら4位となってしまう、自分の力不足を身に染みて感じられました。これを悪い経験とするか良い経験とするかは、これからの自分次第と思うので、次の加古川に向けて悔しさを糧に頑張りたいと思います。

2:大慈智哉(商1 兵庫)

練習したことが本番で活かさないという悔しさを経験しました。だから、この悔しさを忘れないように練習に励みたいと思います。

B:中満祐樹(社1 福岡)

▼M4+B

シート : C:奥谷翔(社3) S:市坪徹也(経1) 3:藤岡天翔(商1) 2:杉浦弘樹(法1) B:芦田一郎(法1)

【レースNo.62】9月11日 11:18 決勝1組

レーン	クルー	着順	1000m	備考
①	同志社大学 B	5	3'52"56	
②	滋賀歯科大学東雲	2	3'23"47	
③	立命館大学	1	3'10"51	
④	同志社大学 A	4	3'45"46	
⑤	瀬田漕艇クラブ	3	3'33"45	

一回生は一週間前にクルーを組んだばかりであり多くのことはできなかったがその中でも学んだことを実際にレースにぶつけて何かしらの経験値を得てくれたと思います。次に一回生がレースに挑む際はより勝利に近づけるようにこれからも一緒に練習を積み重ねていきたいと思います。

C:奥谷翔(社3)

今回僕は4+Bとして出させて頂きました。試合前の練習が少なかったこともあり、とても揃ったチームとは言いがたかったのですが、練習では少しずつ上手くなっているという実感がありました。しかし、結果は5艇中5位でした。練習の時のことや試合前の精神状態を思い出して、今回の試合後に思ったことは、やはりボートは強い精神力が必要だということです。練習中に勝手に上手くなっていっているという自信から来る集中力の欠如、そして最後まで出力を絶対に落とさないという強い気持ちを持てていなかったこと、この2つの要因で今回練習でできたこともできず負けたのだと感じました。まずは筋肉を付けて体を大きくし、エルゴをしっかりと回して強い精神を作り、高い集中力を持ってこれからの練習に励んでいこうと思います。

S:市坪徹也(経1 高蔵寺)

スタートで出遅れ、コンスタントも練習のようにいかず全体的にまだまだ練習が足りなかったように感じました。今後の練習は今回の反省を踏まえて自分の課題を一つ一つ克服していくことを意識しながらやっていきたいです。

3:藤岡天翔(商1 修道)

スタートから焦って水中が出ず、うまくスピードに乗れなかった。

2:杉浦弘樹(法1 国府)

次はもっと気持ちよく終われるように頑張ります。

B:芦田一郎(法1 同志社)

▼W4×+

シート：C:齋藤暢子(商2) S:宇佐見侑紀(文1) 3:竹本咲良(文1) 2:福井彩夏(スポ健1) B:西田樹乃(社2)

【レースNo.62】9月11日 11:26 決勝1組

レーン	クルー	着順	1000m	備考
②	瀬田漕艇クラブ	2	3'54"95	
③	立命館大学	1	3'28"89	
④	同志社大学	3	3'59"20	

今回のレースは一回生の成長に驚いたレースでした。悔しいことに COX として艇の進みに貢献できたとは言えないので次は漕手として共に勝利を目指したいです。
C:齋藤暢子(商2 本荘)

レースになると焦りが出てしまい、いつも通りとはいきませんでした。ストロークの難しさもよくわかりました。しかし、自分の課題が浮き彫りになったレースでもありました。これを次に活かせるよう、これからの練習に尽くします。
S:宇佐見侑紀(文1 富田林)

どんなに練習で順調にいていたとしても、レースでは何が起こるかわからないということを思い知りました。この経験を活かし次のレースではあらゆることを想定してレースに臨んでいきます。応援ありがとうございました。
3:竹本咲良(文1 城南)

三艇中三位という結果に終わり悔しい気持ちしかありません。レースの焦りからか欠点がもろに浮き彫りになった漕ぎでした。ですがその中でも練習時よりタイムが上がるなど成長も感じられました。次に結果を出す為にまた追い込んでいきたいです。
2:福井彩夏(スポ健1 同志社女子)

私自身の 1000m レースのデビュー戦もちょうど 1 年前の 9 月だったので、バウから見える景色は過去の自分と重なりました。スタートで、他のクルーに出られてしまったものの、500m 地点では半艇身差まで迫るなど、技術はまだまだとはいえ、一回生にとって貴重なレースが出来たように思えます。今後は一回生に対して妥協せず求めるべきものは求め、勝ちに食欲になります。
B:西田樹乃(社2 戸山)

試合会場まで足をお運びくださいました先輩方、保護者の皆様、誠にありがとうございました。

今大会での結果を真摯に受け止め、次の大会に向けて部員一同精進して参りますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。